



// Navigator //



モザイクタイル

MosaicTile の散歩道

Vol.5

旧高田陶磁器工業協同組合事務所（高田町）

美濃焼タイルとまちの素敵な出会い。

笠原のタイル産業が隆盛していた頃、同じ市内でも豊かな土と職人の腕を重視する高田では、高い初期投資をしてまで新興産業に関心を持つものはわずかでした。それでもタイル製造3軒とタイル加工が1軒。メーカーのうち1軒の社長は高田陶磁器工業協同組合の理事長を10年も勤め、その間に組合員の増資によって組合が運営する製土工場が整備されたとか。

写真は、昭和28年に建った同組合事務所。事務所機能は移転し、今は時々使う程度ですが、外壁にスクラッチタイルを模したプレス成型のタイル、ウインドウの下には明るい水色のモザイクタイル。内部にもモザイクタイルが敷き詰められています。「陶磁器組合の事務所といえは、タイルが使われたものだ」とは、現事務局長の言葉。ある意味、タイルは陶磁器産業の顔となっていました。

モザイクタイルミュージアム

学芸員 村山 閑

※本連載では、市内に点在する美濃焼タイルを使った建造物を紹介します